

自由診療における麻酔行為の適正と、専門医・認定施設の品位について

近年、SNS や YouTube などのメディアを通じて、自由診療領域における麻酔行為を宣伝する広告が目立つようになっております。施術内容と麻酔の安全性とのバランスを欠いた情報が拡散されており、これに対して多くの会員から不安の声が寄せられています。

日本麻酔科学会は、麻酔科専門医制度および認定施設制度を通じて、科学的根拠に基づいた安全かつ適切な麻酔医療の提供を推進してまいりました。しかしながら、たとえ麻酔科専門医であっても、その行為が医療倫理に反し、品位を損なうような場合、認定の取り消しを含めた厳正な対応が可能であることを、改めて周知いたします。

自由診療において生じた合併症や事故に対し、公的医療保険制度による対応が困難となる可能性があることも、見過ごせない課題です。麻酔は、決して“痛みを取るだけ”の行為ではなく、患者の生命を一時的に預かる極めて専門性の高い医療行為です。術前評価から術後管理までの一貫した責任が求められる中、安易な情報発信が患者の安全を脅かすものであってはなりません。

本学会は、国民の皆様に対しては、信頼できる麻酔医療を選択していただくよう、正確な情報提供に努めてまいります。また、会員各位におかれましては、医療人としての高い倫理観と、患者本位の視点に立った診療を実践されるよう、改めてお願い申し上げます。

麻酔科専門医および認定施設の存在意義が、国民の信頼を得ることによって初めて成立するものであることを、学会としても深く肝に銘じ、今後も適切な制度運用と啓発活動に努めてまいります。

2025 年 5 月吉日
公益社団法人日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明